

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社総合プラント

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具象的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																								
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念を明文化し、経営者は、会社のあるべき姿を従業員に説明し共有している。								8	9																17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・ホームページで、法令遵守の重要性を、全従業員に向けて発信している。 ・入社時および定期的にコンプライアンス研修を行い、法改正等の際は従業員へ周知を行っている。																								16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不正な競争行為の禁止を含む行動規範を明文化している。															10										16
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当部署としてCSR推進室を設置している。																									16
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産の保護に関する行動規範を明文化している。								8.2	8.3	9															
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・プライマシーマークを取得している。																									16
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・自治体と連携し、緊急対応人材育成支援事業を行っている。																							16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性及び生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5			8		10		12	13	14	15	16	17								
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・事業継続計画(BCP)を策定し、運用している。										9		11		13.1									16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●											8	9															17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5			8				12	13	14	15	16	17							
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別やハラスメント禁止について就業規則に定めている。				4.3	5.1			8.5														16.1	16.2	16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・入社時に安全衛生教育を実施している。 ・業務中の事故を社内で共有し、事故の再発防止に努めている。				3				8.8																	
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・労働者派遣事業については、令和2年4月1日より規程等を整備し、法令に則った運営を行っている。					5.5			8.5						10.2	10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・毎月、時間外労働が45時間を超える労働者数を把握し、長時間労働防止に努めている。 ・家庭と仕事の両立のため所定時間や出勤日数の短縮を積極的に推進している。				3		5.5		8.5	8.8					10.3											
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・eラーニングを導入し、キャリア形成を念頭に置いた、段階的かつ体系的な教育訓練を実施している。					4	5.5		8	9																
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるように対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・毎月の安全衛生委員会開催時に産業医と協議・連携を行い従業員の健康維持促進に努めている。									3					8										17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・熊本市「障がい者サポート企業・団体」に認定され、障がい者就労にかかわる環境整備に取り組んでいる。				4.4	5.1	5.5		8.5						10.2	10.3							16.7			
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・テレワーク、zoom等を利用したWeb会議を実施している。				3					8	9.1		11	12												
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・DX推進プロジェクトを発足し、ICTを活用したシステムの導入と業務改革に取り組んでいる。									8	9.1		11	12												
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。	●							3	4				8	9					12									

環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●	・ゴミの分別を徹底し、再生利用を推進している			3.9						11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●	・簡易計算シートを用いてエネルギー使用量を算出し、事業所のLED照明へ転換等、電力の削減を推進している。											13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●	・簡易計算シートを用いてエネルギー使用量を算出し、燃料の削減等CO2排出の抑制に取り組んでいる。			2.4								12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●	・事業活動において、CO2および一般廃棄物排出削減に努めている。													14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●	・ペーパーレス化等書面の電子化を推進している。							9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●	・「節水」や「汚水等の適切な処理」等を実施している。			2.4							11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●	・再生用紙の利用を推進している。							9.4				12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2								12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a	9.4	11.5		13.1 13.3			
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●											9.4	11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●												11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●											9.4	11.2		13.1 13.3			
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●												7.1 7.2 7.3 7.a	9.4	11.6 11.a	12.8	13		17.17

